

イーセック ECEQのクチコミ

「やってよかった」。公開園だから言える、リアルな声。

※平成25年～平成28年までの実施50園からのアンケートより抜粋。

自園の自己満足ではなく、
他者の視点を通し
保育を客観的にとらえ、
その意味を見つめ直す
ことができた。

保育者間で
子どもの内面の
思いについて話を
することが増えた。

カリキュラム
(ねらい)の
見直しをはかった。

活動内容の
一つ一つを
意識することで
振り返りを
する場が増えた。

公開保育の良さを
他園にも広め、
勧めていきたいと
思うようになった。

自ら改善しようとする
気持ちやそれと共
意見を出したり
行動するようになってきた。
保育にも変化が
みられるようになった。

主任がコーディネーター
(ファシリテーター)となり、
付箋を使用した会議を
行い各担任の意見や
考え等見える化する
ようになった。

※ECEQの問い合わせ、実施の申込み

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25(私学会館 別館)

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

電話:03-3237-1957 ファックス:03-3263-7038 メール:info@youchien-kikou.com

© 2017 (公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構



STEP1 事前訪問



- ▶ ECEQの趣旨説明
- ▶ 園長・主任などへのヒアリング

ECEQコーディネーターが公開園の園長などトップリーダーを訪問し、まずECEQの概要を説明し理解を得ます。次に園の理念や現状と課題を聞き取り、公開保育に望むことなどを聞き出します。

STEP2 事前研修



- ▶ 自園の良さや課題を見つける
- ▶ 公開保育で期待したい成果を見つける

現場の保育者に対してECEQを説明し、保育者自身が考える園の現状と課題をECEQコーディネーターの進行によるワークショップなどを通して明らかにしていきます。

STEP3 準備



- ▶ 「問い」づくり
- ▶ 案内づくり
- ▶ 資料づくり

参加者から意見をもらいたい保育の観点を、公開保育当日に「問い」として投げかける文を作ります。「問い」があることで参加者の視点が定まり見学後の話し合いの基礎ができます。公開園が「知りたいことを知ることができる」公開保育にするための大切なポイントです。

イーセック 幼児教育の質向上を支援するECEQ 5ステップ・プロセス。

STEP4 公開保育



- ▶ オリエンテーション ▶ 見学
- ▶ 分科会(協議会) ▶ 全体会

午前中、公開園はふだん通りの保育を行い参加者から「問い」に対するフィードバックをもらいます。分科会はECEQコーディネーターが司会進行し、話し合いが実りあるものになるように努め、全体会で各分科会の内容がシェアされます。

STEP5 事後研修 (振り返り)



- ▶ フィードバックを検証する
- ▶ 自園の良さや課題をみつける
- ▶ 成果を整理する

ECEQコーディネーターとともに公開保育を振り返り、良かった点や次に取り組むべき課題を見いだしていきます。やりっ放しにせず、丁寧に振り返ることによって園の幼児教育の質がひとつ上のステージに進むのです。

STEP6 認定



- ▶ 認定証授与

当機構から「ECEQ認定証」が発行されます。質の高い幼児教育を目指して自主的に取り組んだ証としてこれを公表し、質の高い幼児教育の重要性を社会に対して積極的に訴えることも大切な情報公開となります。

公開保育を活用した幼児教育の質向上システム

ECEQ

Early Childhood
Education
Quality System

ECEQ PASSPORT

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

質の高い幼児教育を実践するのは、驚きと発見にみちた旅に出るようなもの。

イーセック
ECEQコーディネーターがあなたの「旅」のお伴をします。

教育要領(地図)、
自園の理念・カリキュラム(コンパス)
環境・教材・教育内容(道具)を携えて、
より質の高い幼児教育実践(旅)を
続けるために、
公開保育を核として
園と保育者一人ひとりを支援する
プログラム(アクティビティ)が
ECEQです。

あなたの園がECEQを活用し
幼児教育の質の向上に取り組むとき、
ECEQコーディネーターが
道先案内人(ナビゲーター)として関わり、
保育者一人ひとりが
自園の良さを再確認したり
取り組むべき課題を明らかに
したりするためのお手伝いをします。

全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が
プロデュースする
幼児教育の質向上プログラム=ECEQ。
新しい時代にふさわしい
質の高い幼児教育を行う
幼稚園/認定こども園となるために、ぜひ。

よい旅を!

bon voyage!

備えあれば憂いなし。

イーセック
ECEQがあれば、
園の質向上の「旅」は安心です。

Q: ECEQってなんですか?

A: ECEQは全日本私立幼稚園幼児教育研究機構(以下、当機構)が行う
幼稚園/認定こども園における「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」
です。システムの核になっているのはECEQ公開保育(他の公開保育と区別する
ためにECEQ公開保育と呼びます)。ふだん通りの保育場面を他園の保育者が見学して、
公開園の保育者と意見交換をしながら、自分たちだけではわからなかった自園の
良さや課題を見つけていきます。また、その過程において園内のコミュニケーションを
活性化し、同僚性を高める手法を学びます。

ECEQ公開保育は、この一連の質向上システムを当機構から派遣されたECEQ
コーディネーターが始めから終わりまでサポートしてくれるため、まったく公開保育を
したことが無い園でも安心して実施できることが特長です。

Q: ECEQコーディネーターとはどんな人?

A: ECEQ公開保育が成功するように、あなたの園の公開保育をナビゲートして
くれる専門スタッフがECEQコーディネーター。当機構が行う養成講座を修了して
資格を得た、幼児教育の理論と実践を熟知しファシリテーションのスキルを持った
幼児教育の専門家たちです。公開園の保育者たちの話し合いを深めたり、課題を
整理するお手伝いをしたり、公開保育当日は参加者との対話を促してくれます。決して、
評価や指導をする立場ではありません。公開保育が実りあるものになるように、公開園の
側に立つ頼れる「仲間」がECEQコーディネーターなのです。

イーセック ECEQが約束する公開保育3ポリシー

Policy 1 公開園がまんなか

公開園が「やってよかった」と思えるために

ECEQ公開保育は、道先案内人となるコーディネーターが進行を
支援することが特長です。コーディネーターは公開園の側に
立ち、ワークショップや対話を通して公開園が自園の良さや
課題を見つけられるようにお手伝いします。公開園に必ず実りがあるように、公開保育全体をファシリテーションするのがコーディネーターの役割。公開園にとっては心強い存在です。

Policy 2 5ステップ・プロセス

園との対話を通して5段階で丁寧に

ECEQは5段階で進めます。STEP1は園長などトップの考えを
お聴きするヒアリング。STEP2は園の保育者が自園像を語る
ワークショップ。STEP3は公開保育で参加者に見てもらいたい
視点をつくる「問い」づくり。STEP4は公開保育。STEP5は公開
保育の振り返り。このすべての段階が、公開園とコーディネーター
の協働作業で進みます。

Policy 3 体験からの気づき・学び 学びあい、育ちあい

「指導」「助言」ではなく「ともに学ぶ」関係性で

偉い先生に教えを乞う教授型ではなく、公開園とコーディネーター
と参加者がともに学びあい・育ちあう参加者主体の公開保育。
コーディネーターの見守りのもと現場の保育者同士が意見を
交わしあうことで、公開園はもとより見学した参加者自身にも
気づきや学びが生まれます。

